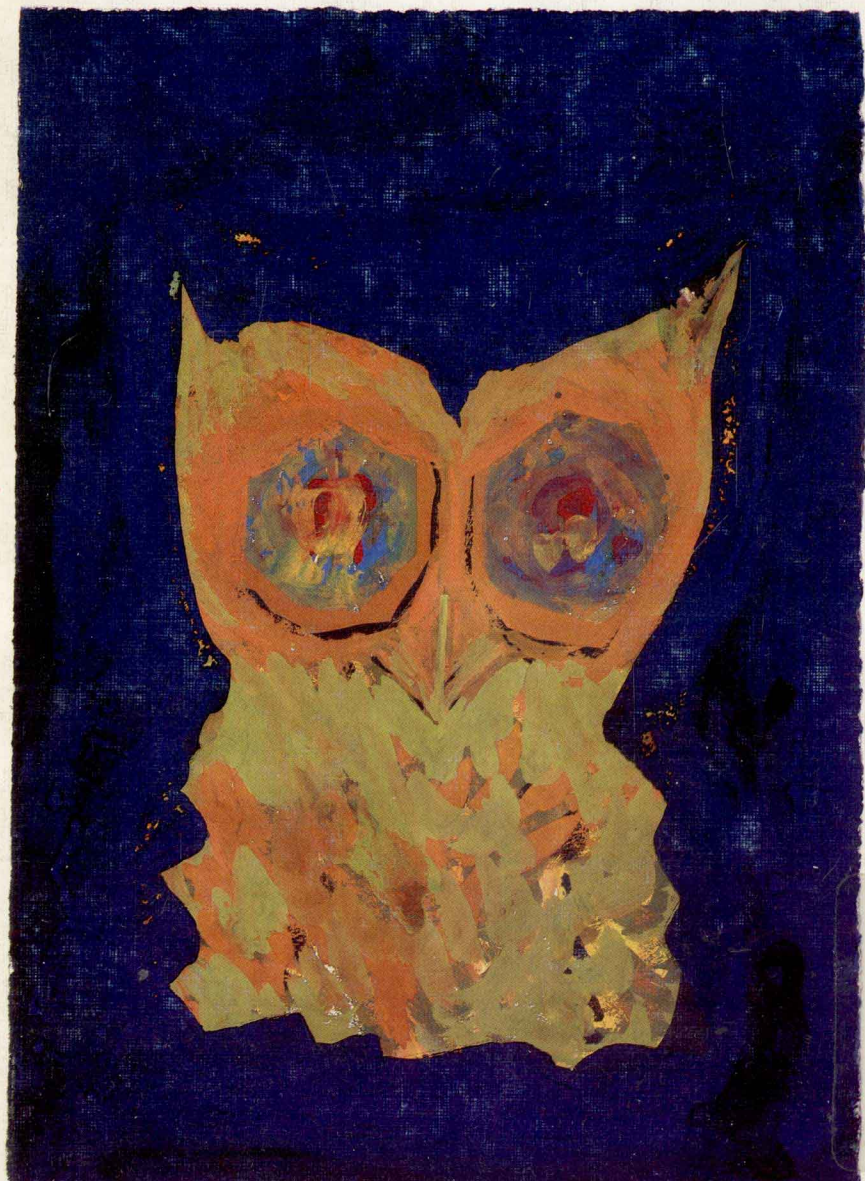


創刊30周年記念童謡集

# 木曜手帖



## 後 書 き

昭和三十三年五月号を創刊号とする木曜手帖は、昭和六十二年五月号を以て、三十周年を迎えました。三十周年特別企画として何かしたいとの会員の願いが、この童謡集に実ったのです。

第一部はすべて新しい作品です。この童謡集を出すとの呼びかけに応じて寄せられた作品ばかりです。第二部は、木曜会の歴史をはさんで、先づ創始者であるサトウハチロー先生、藤田圭雄先生、野上彰先生の作品から、初期に活躍された片岡政子さん、吉岡治さんの作品を掲載しています。

木曜会で賞を出そうではないかと、サトウ先生が提唱、木曜会木曜賞が定められたのは二周年記念号からでした。紙面も限られていることで、受賞者の人々の作品を、受賞順に載せることで、三十周年特別企画の意味を持たせようと考えました。

このほかにも、受賞はしていないけれど、秀れた作品なので是非のせたいと思うものも多数あったのですが、今回はあえて、受賞者の作品のみで歴史をつづりました。

童謡は作曲され、歌われてこそ、ほんとうの命を得るものと考えます。この童謡集から、多くの作品が作曲されて、世の中へ羽ばたいていくことを願ってやみません。

この童謡集の中の作品が作曲され、それによるコンサートを開催することが出来たら……そんな夢を抱きつつ、童謡集「木曜手帖」を送り出します。

私たちの夢がかなえられますよう、特に作曲家の方々の御協力を、心からお願い申し上げます。

宮中 雲子

## 創刊30周年記念童謡集

## 木曜手帖

昭和62年12月27日発行

定価 一、二〇〇円

編集責任者 宮中雲子

発行者 佐藤房枝

発行所 木曜会出版部

東京都文京区弥生二一十六一

サトウハチロー記念館内

郵便番号 一一三

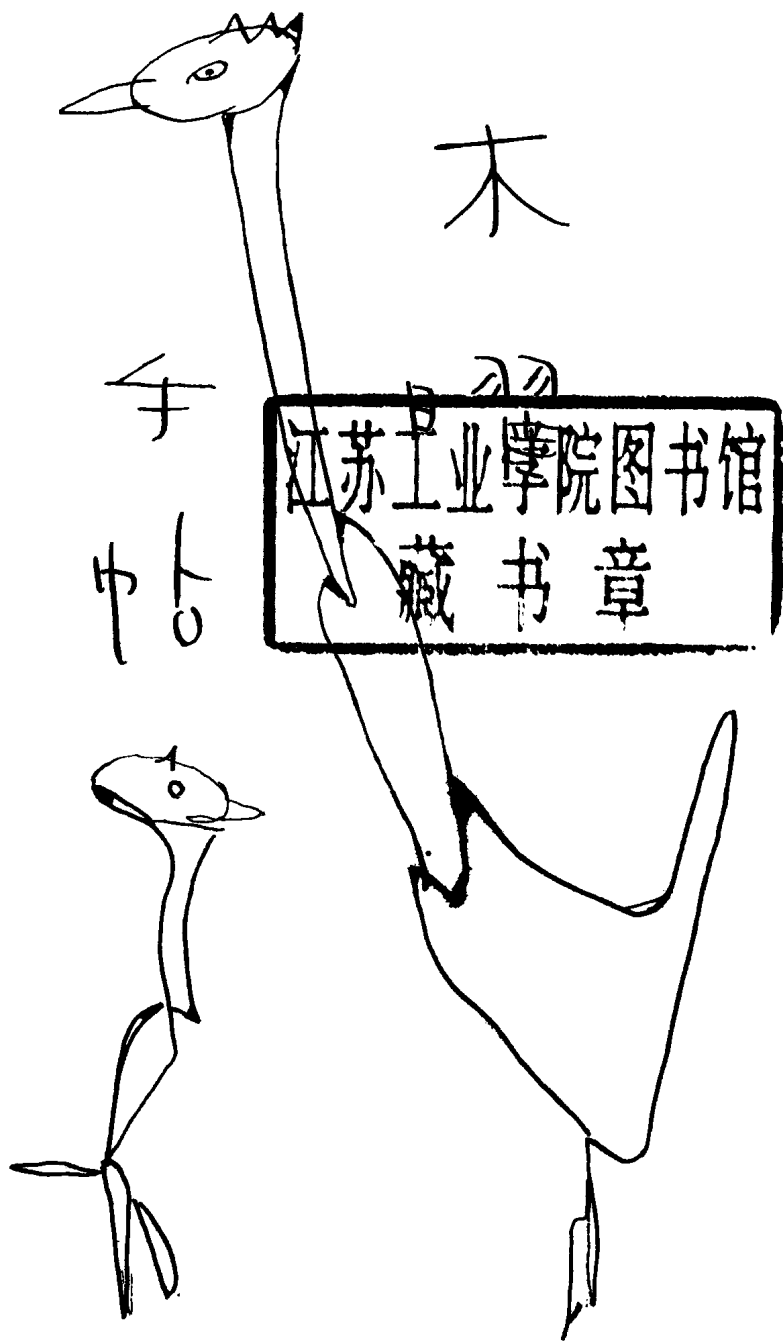
電話(〇三)八一―一三五九五

振替 東京六五五六六七

印刷所 文堂

東京都新宿区水道町五二

落丁・乱丁はお取替えいたします。



# もくじ

絵・サトウハチロー

|                    |            |    |
|--------------------|------------|----|
| きいろいお花に……………       | 藤田 主雄…………… | 8  |
| 赤ちゃん……………          | 若谷 和子…………… | 10 |
| 夕方のお月さま……………       | 宮中 雲子…………… | 12 |
| またあとで……………         | ”……………     | 13 |
| ごめんねお月さま……………      | ”……………     | 14 |
| 「おるすばん」のおるすばん…………… | 宮田 滋子…………… | 16 |
| 空のガリバー……………        | ”……………     | 18 |
| かたつむりのから……………      | 名取 和彦…………… | 20 |
| 夜になるのを……………        | 西脇たみ恵…………… | 22 |
| 雷さまが落ちた……………       | 平 芙美子…………… | 24 |
| ほんとうは数えられるんだよ…………… | ”……………     | 25 |

|                |         |    |
|----------------|---------|----|
| 鬼が泣いた……        | 富永佳与子…… | 26 |
| 雨の日のジョギング……    | 国井 利明…… | 28 |
| あまんじゃくにつかまると…… | 諸田 詠子…… | 29 |
| 洗濯ばさみ……        | 溝淵 淑子…… | 30 |
| 雲は 白いふあふあねんど…… | 中野 光子…… | 31 |
| でんでんむしのおうち……   | 小泉 明子…… | 32 |
| なぜこちな キ・モ・チ……  | 山本 弘子…… | 34 |
| コノハムシ……        | 信田百合子…… | 36 |
| 三日月……          | 安田のり子…… | 37 |
| 夢……            | 梶 節子……  | 38 |
| あかんべ……         | 大谷 和子…… | 39 |
| おまえは トマト……     | 宮城千鶴子…… | 40 |
| 地球はまるい……       | 渡辺寿美子…… | 42 |
| おかあさんは……       | 柘植 愛子…… | 43 |
| プレゼント……        | 荒卷 清美…… | 44 |

|          |        |    |
|----------|--------|----|
| 地球がまわった日 | 井筒 良子  | 46 |
| かあさんネコ   | 森山久美子  | 47 |
| 海は巨大な魚   | 瀬野 啓子  | 48 |
| 長距離マラソン  | 沢井 克子  | 49 |
| 九月のさよなら  | 三輪アイ子  | 50 |
| 急病       | 菊池 寿歩  | 52 |
| おねがい     | 今井千賀子  | 53 |
| 表札       | たなべかずめ | 54 |
| しゃくとり虫   | 堀口 光子  | 55 |
| つた       | 中原千津子  | 56 |
| ばあばあの子守歌 | 西沢はる子  | 57 |
| ほうせんかのたね | 河合 彰子  | 58 |
| 飛魚       | 佐怒賀裕子  | 59 |
| ジグソーパズル  | 土屋 律子  | 60 |
| 一つの顔     | 肥田 葉子  | 61 |

「木曜手帖」 30年の歩み……………62

フム フム ヌク ヌク

フム ニャム コン ちゃむ ちゃむ  
もこもこ ちゃむにゃむこん……………サトウハチロー……………70

春……………藤田 圭雄……………74

おへそのうた……………のがみあきら……………76

だれかしら……………片岡 政子……………78

あれはなんだ?!……………吉岡 治……………80

私は風に名前をつける……………若谷 和子……………82

矢車草……………名取 和彦……………84

浜辺のちいさなあしあと……………宮中 雲子……………86

こうもり来い……………斎藤 貞夫……………88

おるすばん……………内林クマ子……………90

お風呂からでたばかりの子……………安藤 晃子……………92

チャーハン……………”……………93

売られてゆく子牛……………松本アイ子……………94

あついかぬるいか……………鴻森 正三……………96

あくびがでそうになったらね……………いいじまかずこ……………98

おやすみなさい……………宮田 滋子……………100

ぶらんこで……………三間由紀子……………102

おふろは一人ではいるんだ……………渡部千津子……………104

水よ はよはよたんぽにたまれ……………上野 雅典……………106

かあさんは……………菊地 郁子……………108

アベコベだったら……………津山 章作……………110

コピーって……………”……………111

秋のきりん草……………亀山美津子……………112

とびうお……………西脇たみ恵……………114

しかられて泣いた時は……………”……………115

ねこは ねこ……………富永佳与子……………116

丸木橋とおまじない……………国井 利明……………118

歯医者さんは工作が好き……………平 芙美子……………120

|                |       |     |
|----------------|-------|-----|
| 新しいおふとん        | ..... | 121 |
| 星              | ..... | 122 |
| かべかけ時計がこわれちゃった | ..... | 123 |
| いやいやはやいやい      | ..... | 124 |
| セミ             | ..... | 126 |
| 昼寝の時間          | ..... | 127 |
| 月が危い           | ..... | 128 |
| 船のおふろ          | ..... | 129 |
| 地震がくると         | ..... | 130 |
| かくし忘れ          | ..... | 132 |
| おかあさんのおしゃべりには  | ..... | 133 |
| 昆虫の味方          | ..... | 134 |
| ひき蛙の季節         | ..... | 135 |
| 諸田 詠子          | ..... |     |
| 小泉 明子          | ..... |     |
| 石田 柳子          | ..... |     |
| 八重垣孝子          | ..... |     |
| 信田百合子          | ..... |     |
| 山本 弘子          | ..... |     |
| 堀口 光子          | ..... |     |
| “              | ..... |     |

きいろいお花に

藤  
田  
圭  
雄

きいろいお花に

なりたくて

蝶々は　じっと

してました

葉っぱの蔭は

せまいので

羽根をたたんで

おりました

風が吹くけど  
ゆれるけど  
お花の夢を  
見えました

きいろいお花に  
なるまでと  
だまってとまって  
おりました

## 赤ちゃん

若  
谷  
和  
子

とても ちいさな 風なのよ

それは 風の 赤ちゃんよ

ふわん ふわ ふわん

おっぱいのおいが するでしょう？

うまれたばかりの 風なのね

ひかる ちいさな 雨なのよ

それは 雨の 赤ちゃんよ

くすん くす くすん

かあさんにあまえて いるでしょう？

あそびつかれて ねむいのね

とても ちいさな 石なのよ

それは 石の 赤ちゃんよ

ころん ころん ころん

泣かないでがまん するでしょう？

だからなでて あげようね

\* 赤ちゃんの真悠ちゃんへおくります

## 夕方のお月さま

宮 中 雲 子

お日さまが しずまないうち  
空に出てきた お月さま  
お日さまに  
なにか伝えたいことが  
あったのかしら

お日さまが しずんでいくのを  
空で見送る お月さま  
お日さまも  
ちよっと名残り惜しそうに  
振り向いてるよ

また あとで

まぶたを そっと くすぐって  
わたしをおこした お月さま  
あそびにいとくと さそっても  
だめ だめ だめよ

いまは よなか  
また あとで

まあるい かおを ちかずけて  
まどからみている お月さま  
がまんくらべで まってても  
だめ だめ だめよ  
いまは おねむ  
また あとで

ごめんね お月さま

早目に空に 出てきても

あんまり遊んで あげられない

ごめんね お月さま

そろそろお家に 帰らなきゃ

ママと 約束 あるんだよ

家まで送って くれたのに

どうぞと中へは 通せない

ごめんね お月さま

淋しい顔して 見られると

なかなか扉を しめられない

窓からお話 してるうち

ねんねの時間は もうすぎた

ごめんね お月さま

カーテン閉じても 変りなく

じっとこちらを 見ているね